

事務事業名	清掃監視員設置事業				担当	市民生活部 環境課 清掃係			
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり				増補版施策名			
施策名	3	廃棄物の抑制と適切な処理				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	真岡市清掃監視員設置要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和57 年度～）			
予算科目	1.一般会計	4.衛生費	2.清掃費	1.清掃総務費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）			
事業概要	業務は不法投棄に対する監視、指導、回収、ステーションの巡回業務及び指導、犬猫等の死体処理、不法投棄防止看板作成等の業務を行う。 また、空き缶等散乱防止事業で、6月、10月に空き缶拾いで禁止の横断幕を市内の主要道路6箇所に設置していたが、横断幕の経年劣化により平成26年度より3箇所と した。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 30年度実績 ・不法投棄物の発見等（市民等からの通報含む） 不法投棄者が判明した場合 不法投棄者に、指導等し引き取らせる 不法投棄者が不明の場合 土地管理者等が投棄物を処理する。 ・ごみ・資源ステーションの巡回・指導 ・市内巡回及び犬猫等の死体処理等。 ・空き缶等散乱防止事業 横断幕設置  31年度計画 ・前年度と同様。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	パトロール実施日数	日	244	244	244	244	241
イ	犬・猫等死体処理件数	件	477	560	469	518	520
ウ	空き缶拾いで禁止の横断幕設置	箇所	3	3	3	3	3
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・不法投棄のごみ、ボイ捨て等のごみ ・ごみステーション ・市民	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	ごみステーション数	箇所	2,113	2,134	2,143	2,165	2,183
イ	市民	人	80,590	79,422	79,542	79,414	79,324
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・不法投棄の防止をするとともに、ごみの出し方を指導し、ステーションの 良好な管理を行う。 ・空き缶等の散乱防止と環境美化意識の高揚を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	不法投棄の件数	件	219	184	164	136	129
イ	不法投棄されたごみの重量	Kg	4,746	5,365	5,277	3,747	3,522
ウ	不法投棄防止看板作成	本	152	166	130	172	163
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・廃棄物の適正な処理により、良好な生活環境の保全を図る。 ・ボイ捨てごみなど、ごみ散乱のない清潔で美しいまちづくり。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
ア	きれいなまちと感じる市民の割合	%	79.6	75.9	78.1	80.9	83.0
イ							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	1,276	1,164	1,164	1,621	2,473
	一般財源	千円	7,162	4,869	6,635	7,565	7,565	
	事業費計(A)	千円	8,438	6,033	7,799	9,186	10,038	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,236	2,236	416	416	416
		人件費計(B)	千円	9,369	9,286	1,726	1,734	1,734
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,807	15,319	9,525	10,920	11,772	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	・昭和57年度より、廃棄物の不法投棄を防止し、良好な生活環境の保全を図るため、3名の清掃監視員を配置した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	・不法投棄は、夜間や人目につきにくい場所等で行われることが多く、不法投棄の現場が発見しにくくなってきている。 ・平成23年度から不法投棄件数が増加しているのは、震災による影響と地デジ化によるテレビの買替により不法投棄が増加したためである。 ・平成26年度より見えるごみの有料化が導入されるため、不法投棄の対策として1名を増員し、4名体制をとっていたが、平成28年度以降は3人体制で監視を行っている。 ・平成27年度制定された空き缶散乱防止条例に基づき、環境保全係が空き缶等散乱防止事業を行ってきたが、平成24年度から清掃係に移管した。 ・空き缶等散乱防止事業は、清掃監視員が担当しているため、平成25年度より事務事業を統合した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・廃棄物の適正処理に結びついている。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・市民の環境美化意識の高揚を図り、不法投棄防止を図る事業であるため、妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある ・清掃監視員を設置し、不法投棄防止を図る事業であるため、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・巡回パトロールなどにより不法投棄件数は減少しているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・不法投棄を防止する必要があるため、廃止・休止はできない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最小限の事業費で実施しているため、削減余地がない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある ・最小限の事業費で実施しているため、削減余地がない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ・指導や監視業務のため、受益者負担はなじまない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							